

若年者等ジョブサポート連携強化事業について

長野県商工労働部労働雇用課

1 概要

「パーソナル・サポート・モデル事業」の実施に伴い、一般就労から距離のある若者層に対する多様な社会的受け皿（中間就労の場など）の必要性が改めて明らかとなった。

障害認定に至らず、就労経験がない者は、障害者支援施策の対象から外れ、自らの力のみでは職業的自立に向けた歩みを踏み出すことは困難である。

そこで、障害認定に至らない者を短期間雇用して、指導員による支援を組み合わせた取組みをNPO等と連携してモデル的に実施し、これらの者の職業的自立につなげていく。

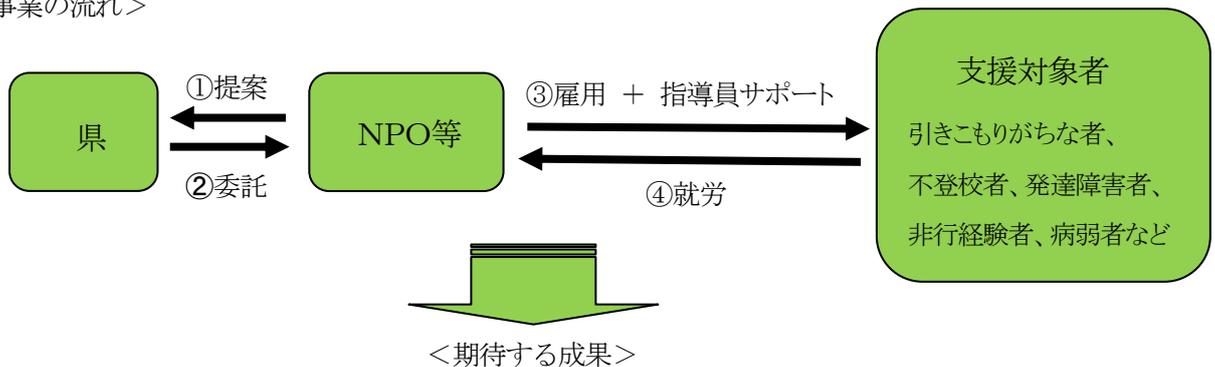
2 支援対象者

障害認定には至らない働く意欲のある概ね40歳未満の若者

3 事業内容

2の支援対象者をサポートする指導員付きの中間的就労を行う事業をNPO等に委託して実施する。

<事業の流れ>



- ・有給の雇用契約に基づく一般的な就労に近い厳しい環境下で人材育成を図るとともに、実際の勤務実態を地域の企業経営者等に見てもらうことにより、一般就労へのつながりが期待できる。
- ・無給の就労体験事業を実施しているNPO等は、中間就労の必要性を認識しながらも実施に踏み込めないことが多いことから、本事業により有給雇用に関するノウハウを蓄積してもらい、今後の自立的な就業事業に結び付けていただく。
- ・県がモデル的に実施して効果及び有効性を検証することで、多様な受け皿の創出が期待できる。

4 委託対象経費

指導員の配置に係る経費

5 委託状況（平成24年度）

受託団体名	支援対象者が行う主な業務	指導員数	支援対象者 (予定)
NPO 法人侍学園スクール・今人	中古書籍販売に関わる業務(本のクリーニング作業等)	2人	6人
企業組合 労協ながの	児童センター等に提供するおやつ製造業務等	1人	2人